群馬県立前橋女子高等学校　学校評価一覧表　（令和７年度版）

（別紙様式）

羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○各教育活動に満足している生徒が80%以上である。 ○自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	○学校行事や授業について各部において見直しや検討をし、内容の充実と改善を進める。	A	A	A	・110年を超える伝統を重んじながら、時代の変化を随所に取り入れた特色ある教育活動に満足している生徒は約94%、保護者も約91%と高い評価が得られている。 ・お互いに切磋琢磨できる校風や多様性に配慮した教育活動について多くの生徒が満足しており、結果として約91%の生徒が本校を好きだと答えている。 ・質の高い授業の実践に向けて、教員相互の授業見学や授業アンケート等を積極的に活用し授業改善に努めた。 ・校訓や教育目標を理解して学校生活を送っている生徒の割合は約84%と昨年と比較して５%程上昇した。学年集会や通信等で教育目標等を周知する機会が増えたことが要因の一つである。 ・SSHの課題研究プログラムは生徒にも浸透して、満足度は約90%となったが、保護者へのアンケート項目「前向きに取り組んでおり、今後に期待が持てる」では約76%にとどまった。SSHの活動、本校の取組状況が保護者に十分理解されているとはいえない結果となっている。活動内容をより一層周知していくことが課題である。３期目の４年目を迎える次年度は、活動内容のさらなる向上だけでなく、校内外に向けた広報活動にも積極的に力を注ぐ。	・生徒が誇りをもって充実した学校生活を送っていることが外部からもわかります。 ・校訓などを理解している生徒の割合が上がったことも有意義な学校生活を送る上で望ましい。 ・かつて私が入学して感銘を受けた校訓に現在の生徒たちが肯定評価をしていることは素晴らしい。 ・SSH活動について、昨年度の成果発表会には他校の生徒さんも招いていたので、視野を広げる機会にもなっているように感じました。 ・文化祭では、それぞれの生徒さんが自分の教室や部活動などの発表の場で、のびのびと工夫・自己実現されている様子が、よく見て取れました。 ・どうしても一定数は新しい環境になじめない生徒がいることも事実かと思われますが、学校が好きだと感じている生徒は、やはり１００%であって欲しいと願ってしまいます。 ・文系の生徒の保護者は、あまりSSHに興味がないのかもしれない。
		○授業の質の高さに、満足している生徒が80%以上である。	○各教科・科目で、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の研究と導入に取り組む。	A	A	A		
		○ＳＳＨ参加生徒の80%以上がその事業内容に満足している。	○全校体制でＳＳＨ事業に取り組み、生徒の多元的思考力と自己調整能力、挑戦し失敗から学ぼうとする態度を育成する取組を充実させる。	A	A	A		
	2 校訓や教育目標が生徒に理解されるように努めていますか。	○校訓や教育目標を理解して、学校生活を送っている生徒や保護者が80%以上である。	○学校通信や学年通信、保護者集会等で教育目標を積極的に提示し具現化する。	A	A	A		
	3 生徒の主体的な学びを引き出す「総合的な探究の時間」を行っていますか。	○一連の探究活動に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。困難を避けるのではなく、困難に挑むよう試行錯誤をする生徒の割合がR5より増加している。	○「総合的な探究の時間」において、生徒が主体的に活動できるように課題研究すごろくを中心とした課題研究プログラムを実施する。その上で、今年度は、知識や技能を生徒自身が身に付けていく姿勢を養うことを目的に、１学年のプログラムを中心に改善	A	B	A		
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○授業改善のための授業公開や授業研究を各学年、年２回以上実施している。	○授業アンケートを充実させ、生徒のニーズを把握すると同時に、難関大入試に対応した授業の充実を図る。	A	A	A	・PTA総会時の授業公開、教科を越えた相互の授業参観、校長による授業観察など様々な視点から授業参観を実施した。また授業アンケート結果は教職員へフィードバックし、より質の高い授業実践に向けて日々模索している。さらなる授業改善のためにも次年度も継続していく。 ・生徒の進路希望実現のために、授業はもちろんのこと早朝補習や個別指導、複数回の二者面談の実施など、本校の丁寧な学習指導に約９５%の生徒が満足している。 ・授業については約９０%の生徒が達成感、満足感を感じている。 ・昨年度と比較して平日の平均家庭学習時間は増加している。一方で２時間に満たない生徒が約25%いる（保護者アンケートでも約23%）ことから、家庭学習習慣の定着に向けた支援体制が課題となっている。学習の仕方のアドバイスや学力支援だけでなく、心のケアも必要になっている状況を踏まえてきめ細やかな対応に努めたい。	・宿題に関しては、それぞれの教科で課しているため、トータルするとものすごく多い分量になっていると感じました。全教科をトータルした際、多くなりすぎないよう、先生同士の横の連携を大切にして調整してほしいです。 ・家庭での学習時間ですが、前女生は遠方から通学している生徒が多く、通学時間に時間を取られているように感じます。時間でカウントするのではなく、隙間時間をいかにうまく使えたかなど、別の指標を使用してもよいかもしれません。 ・学習２時間未満の生徒の実態と原因を知りたい。 ・生徒さんは皆さんとても熱心に自主学習に取り組んでいる様子が、市内施設でも散見されており、主体的な学習が定着している様子がうかがえます。
		○進路希望実現に向けた学習指導に、生徒の80%以上が満足している。	○平常課外補習、長期休業中の講座等をさらに充実させる。	A	A	A		
	5 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○学習への達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	○本校の研修テーマに沿った研究授業・授業研究を実施し、授業改善を図る。	A	A	A		
		○学習内容の定着を図り、家庭での１日当たりの平均学習時間が３時間以上である。	○教科間で連携のとれた課題を課し家庭学習の定着を図る。 ○学習内容の定着を図るために、学習量の調査や点検、反省を行う。	B	B	B		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○職員会議や学年会議等において、生徒に関する情報交換を月に２回以上行っている。	○学年、運営委員会、拡大教育相談会議等で、定期的に生徒の情報交換を行い、重要な情報については職員会議等の場を通じて全職員の共通理解を図る。	A	A	A	・安全安心に学校生活が送れるように運営委員会、職員会議、学年会議等で生徒の情報交換を行っている。個別事例については関係者によるケース会議を随時行い、カウンセリング後のブリーフィングを活用しながら、より密な情報共有を行い、迅速に対応できる体制を整えた。増加傾向にある通級指導対象生徒や特性を有する生徒についても、学年、関係者、部活動顧問等に情報を共有して、学校全体で支援する体制を整えている。こうした実情を踏まえ、次年度も継続して研修等を実施して職員の知識理解を促進させ、組織的に対応できる体制づくりに努める。 ・生徒会行事関係では、生徒が中心となって運営する体制に職員が支援する形で創り上げており、約９３%の生徒が充実感を感じている。来年度は、さらに生徒がエージェンシーを発揮できる場が増えるように取り組んでいきたい。 ・体調不良や不登校傾向等を除けば、理由なく遅刻をしないという雰囲気が学校全体としてできている。 ・服装やマナー、あいさつがきちんとできていると回答した生徒が約98%である。ほとんどの生徒が落ち着いた雰囲気で学校生活を送れている。 ・アンケートを実施していじめの発見、早期対応に努めるなどの取組を行い、約92%の生徒がいじめ対策は充実していると答えている。来年度もアンケートや二者面談などで予防と早期発見に努め、学校全体で組織的に取り組んでいく。 ・引き続き生徒との面談を丁寧に行い、日常的に教員に相談しやすい雰囲気の醸成を図る。スクールカウンセラー等の教育相談の活用も促進され、利用者数も増加してきている。次年度も心のケアに重点を置き、保護者、関係機関と綿密に連携して生徒を支援していく。	・いじめの話など、家庭では聞いたことがないので、対策が充実していると感じています。 ・通級指導対象生徒は、様々なタイプの子がいると思うので対応も難しいと思いますが、職員の皆さんの知識理解が不可欠だと思いますので、今後も研修等の継続をお願いします。 ・来年度からは、ポロシャツに関しても検討していただいているとのことで、大変嬉しく思っています。健康を保つ上で温度調整し易い衣服が許可されることは大変望ましいことと考えています。 ・一人一人の生徒への丁寧な指導がなされていることがよくわかります。 ・生徒会活動をはじめとして自主的な活動が活発であることは、とても評価されることだ。 ・服装や髪型等身だしなみが整っており、落ち着いた雰囲気の生徒さんが多く見られます。 ・活動的なタイプの生徒さんにはますますの活躍の場を、内省的に自分の世界を深めるタイプの生徒さんには安心して自身の興味に没頭できる邁を、引き続き作っていただきたいと思います。
		○授業、学校行事、生徒会活動・部活動等が充実していると評価する生徒が80%以上である。	○生徒による企画運営を尊重する環境作りに努める。 ○部活動・生徒会活動の振興のための環境整備をする。	A	A	A		
	7 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	○学校のいじめの防止や早期発見に向けた取組が充実していると評価する生徒が80%以上である。	○生徒会や生活委員会を中心に主体的にいじめ防止の啓発活動に取り組む。また、生徒が職員に気軽に相談できる体制を作り、いじめの防止、いじめの早期発見に努める。いじめには組織的に対応する。学校の取組について保護者にも周知する。	A	A	A		
		○教員に相談しやすい雰囲気ができていると考える生徒が80%以上である。		A	A	A		
	8 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による遅刻をなくし、１日の平均遅刻者は全体の２%以下である。	○原則として遅刻が月５回を超える生徒に対しては段階的に指導を継続し面談、保護者連絡等を徹底させる。	A	A	A		
		○服装やマナー、あいさつの指導を適宜行っている。また、ＨＲや集会等での服装指導を行うとともに、各学期ごとに生徒主体のあいさつ運動を実施している。	○「あいさつ」を活発に交わせる校内の雰囲気を醸成し、服装やあいさつについて生徒の意識を向上させる。 ○服装や頭髪の乱れがないか常時全職員で確認し乱れがあれば即時指導する。	A	A	A		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	○学校から提供される進路情報が役立っていると評価している生徒が80%以上いる。	○３年間を見通した進路年間計画を踏まえ、ＬＨＲ、「総合的な探究の時間」、進路講演会等により、進路情報を提供する。	A	A	A	・進路講演会、大学教授を招いての講義、大学別のセミナー等を計画的に開催して生徒の進路意識向上に努めた。模試結果を分析して教員間で共通認識を持ち、生徒の進路選択や進路実現に向けた具体的なアドバイスが行える体制、教員個々のスキルアップにつながる体制をとっている。 ・二者面談、三者面談等を活用して生徒・保護者との意思疎通、共通認識の形成を図っている。生徒・保護者とも93%以上が互いに将来の志望を理解していると回答している。 ・進路通信や学年通信を定期的に発行し、ＨＰにも掲載することによって保護者にも学校の様子や進路情報が届くように努めた。95%の生徒が進路情報が役に立っていると回答している。引き続き情報発信を継続する。 ・様々な進路行事を通じて「自己の生き方」と「将来の職業」との関連を生徒に幅広く考えさせた。約91%の生徒が進路実現に向けて積極的に取り組んでいると答えている。 ・今年度も各分野の最先端で活躍している卒業生との交流を通じてキャリア教育に取り組んだ。次年度も進路行事等を通じて「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出せる」ように、変化の激しい社会に対応できる資質・能力を育成していく。	・進路通信や学年通信など、生徒本人は読んで情報を得ているかと思いますが、親にまでそのプリント内容が伝わっていないという家庭も多いかと思います。生徒向けにはプリントなど紙ベースでよいかと思いますが、保護者へは一斉メールで配信していただくと読む機会も増えると思います。 ・進路講演会は非常に評判が良いと思います。 ・生徒が主体的に学校生活を送っていることが良くわかります。素晴らしいと思います。 ・生徒さんはボランティア活動においても、目上の大学生や社会人とも積極的に交流し、自らの進路について情報を集め前向きに考えている姿が度々見られました。 ・大学関係者及び先輩諸氏に話を直接聞くことは、生徒の進路選択や人生の指導を得るなど、良いことが多いと思う。
		○生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上いる。	○学年に応じた面談プログラムを計画し、二者、三者面談をきめ細かく実施する。	A	A	A		
		○進路通信や学年通信等を通じて、年６回以上、学年に応じた進路情報を生徒や保護者に提供する。	○進路指導部による進路通信を発行し、情報を生徒、保護者に提供する。	A	A	A		
	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○「自己の生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が90%以上である。	○地域の社会人、保護者、卒業生、大学関係者等を講師として積極的に活用する。 ○オープンキャンパスへの参加や大学情報を入手するためのインターネットの活用を推進する。 ○模試や各種統計資料により生徒の学力分析を行い、課題を明確化する。	A	B	B		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○学校の教育活動を家庭や地域に理解してもらうために「学校公開」を年２回実施する。	○学校評議員会、ＳＳＨ公開発表会の日程に合わせて、「授業公開」を行う。	A	A	A	・PTA総会時の学校公開、中学生への学校説明会の保護者参加、WEBページの更新、学年や分掌による通信などを通じて保護者や地域に情報を発信することができた。 ・学年通信、進路通信、保健だより等を通じて生徒と保護者に最新の情報を提供して、進路や健康安全等の意識向上に努めた。 ・次年度も卒業生の協力による人材バンクなどを活用し、生徒の実態を踏まえながら実りのある講演会や座談会を実施する。愛校心を育成しながら生徒の資質向上につなげたい。	・体育大会、文化祭、新入生歓迎会や予餞会など、大盛り上がりする行事がたくさんある。その行事の動画などをホームページやSNSで配信すると、メリハリを付けた楽しい前女の魅力が伝わると思う。 ・生徒が誇りをもって充実した学校生活を送っていることが外部からもわかります。素晴らしいと思います。
		○学校のホームページを随時更新し、最新情報を提供する。 ○各学年が学年通信を各学期３回以上発行する。	○個人情報に配慮しながら、学校行事や部活動の様子、進路情報等最新の情報を発信する。 ○学年の特長や取組状況、行事等の様子を随時情報発信する。	A	A	A		
	12 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	○保護者や地域社会の方、同窓生を講師にした講演会などを年３回実施する。	○進路講演会やｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄｶﾞｲﾀﾞﾝｽで、保護者や地域社会の方の講演を実施する。また同窓生による講演会を計画する。	A	A	A		
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	13 ＩＣＴを活用した指導を行っていますか。	○生徒が学習用端末を毎週利用している。	○授業、進路学習、行事等で積極的に活用する。	A	A	A	・各教科の授業、科学的探究等の活動で、生徒用端末を活用して、データの共有やドキュメントの共同編集、Classroomでの情報発信をした。次年度も活用を推進し授業の改善に努める。 ・SSH活動や部活動、各種校外活動やイベントに積極的に参加した。また学校説明会の動画配信も行い好評を博した。今後もこうした活動を継続していく。 ・授業でICT機器の活用する機会が多くあり、約92%の生徒がICTを活用する授業に満足している。今後も活用を推進し、職員の指導力向上や生徒のリテラシー育成に努める。 ・保護者宛通知や進路通信、学年通信等はＧＳＮメールやオンライン配信を中心に情報発信した。大切なお知らせは紙による通知も行った。今後もハイブリッド形式を継続していく。 ・各種アンケートや授業において、googleフォームを利用したアンケートが目標を上回り実施されている。 ・HP管理会社の移行に伴い、新しいHPを作成中であるが、他校と比較すると改善の余地が見られる部分がある。保護者アンケートでもHP改善の要望があることも踏まえ（HPへの保護者満足度77%）、次年度以降の新しいHPの内容を充実させたい。 ・ペーパーレスの職員会議が浸透している。今後も継続してデジタル化を図る。	・紙には紙の良さ、デジタルにはデジタルの良さがあるため、今後も、ハイブリッドで対応していただけると助かります。 ・「工事中」の段階ではありますが、新しいサイトを拝見して、とても見やすい構造になっているように見受けられました。完成を楽しみにしております。 ・少子化と授業料無償化の影響で志願者が減ることも想定されると思いますが、この時勢だからこそ、前女での学校生活の良さを在校生の皆さんで改めて挙げ直し、中学生へのPRや学生生活を有意義に送るきっかけにしていただきたいです。 ・生成AIを使いこなすためには明確な指示を出す力が必要です。教育現場でも自ら課題を見つけ解決に向けた仮説を考える力、AIにうまく働いてもらうための論理的思考力を養えるよう導けると、生徒・保護者双方にとってありがたいのではないかと感じます。
		○ICT機器を使ったことがある授業が90%以上である。	○ICTの効果的な活用に係る授業改善を踏まえた指導をする。	A	A	A		
	14 ＩＣＴを活用した業務改善を行っていますか。	○ｵﾝﾗｲﾝによる通知の割合が80%以上である。	○保護者への通知等にメールやHP等を積極的に活用する。	A	A	A		
		○ｵﾝﾗｲﾝでのｱﾝｹｰﾄを年５回以上実施している。	○各種調査にｸﾞｰｸﾞﾙﾌｫｰﾑ等を活用する。	A	A	A		
		○ｵﾝﾗｲﾝによる欠席連絡の利用者の割合が80%以上である。	○学期始めや感染症等の流行時に、ぐんまスクールネットメール連絡網の利用を適宜周知する。	A	A	A		
		○ﾍﾟｰﾊﾟﾚｽの職員会議等を９回以上実施している。	○校内LANやｸﾞｰｸﾞﾙﾄﾞﾗｲﾌﾞを利用してﾍﾟｰﾊﾟﾚｽ化を推進する。	A	A	A		